

台湾東部沖地震への募金活動

令和6年4月16日、17日に行われた文化祭で、台湾東部沖地震への募金活動を実施しました。PTAの方々の募金箱には14,431円、生徒会の募金箱には2日で31,079円、100台湾ドル、合計45,510円と100台湾ドルが集まりました。45,510円を日本赤十字社を通じて寄付致しました。台湾ドルは近日中に追加で寄付をする予定です。本校と交流のある国立彰化女子高級中學には大きな被害はなかったものの、少しでも台湾の被災地、被災者のお力になればと思います。一日も早い復興をお祈りいたします。

神戸新聞 2024年04月23日 火曜日 面名 姫路 13 21ページ

姫路西高生が募金活動

台湾東部沖地震の被災地支援

募金活動をする姫路西高校の生徒―姫路市北八代2



3日に発生した台湾東部沖地震の被災地を支援しようと、姫路西高校（姫路市北八代2）の生徒らが校内などで募金活動を行った。日本赤十字社を通じて被災地に届

けられる。

同校は2005年から台湾の彰化女子高級中学との国際交流に取り組んでいる。今年1月には、台湾から生徒58人が来日し、姫路城などをもに見学。3月上旬には国際理学科の39人が台湾を訪問し、親睦を深めたばかりだった。被災地の力になりたいと生徒会

が中心となり募金の実施を決めた。募金活動は文化祭のあった16、17日に実施し、生徒会役員らが保護者や生徒に「ご協力お願いします」と呼びかけた。

生徒会役員の広瀬あこさん（16）は、多くの建物が崩れた現地の映像に衝撃を受けたといい、「互いに困ったときには助け合える関係を築きたい」と話した。

（橋高 声）

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

